

## ＜基調講演 Keynote＞

### ■「我が家のホームスクーリングの旅路」

#### Our Family Home Education Journey

ジェラルド&ベバリー ヒューブナー  
Gerald & Bev. Huebner

ヒューブナー家は、2人の子どもをホームスクーリングで育て上げました。「まずは1年」という形で始めたホームスクーリングの旅路は、14年間続き、一家はホームスクーリング生活を大いに楽しみました。その後、法律面でのホームスクーリング擁護団体、HSLDA カナダ代表として、カナダや世界のホームスクーラーたちのサポートに尽力する一方、現在は4人の孫たちのホームスクーリングを手伝い、励まし続けています。講演では、ホームスクーリングの旅路で体験した感動を分かち合います。

### ■「なぜホームスクーリング？」

#### Why Home Education?

ジェラルド&ベバリー ヒューブナー  
Gerald & Bev. Huebner

ホームスクーリングは、学問や社会性、将来に向けた準備など、様々な面で大きなメリットがあります。そのため、今や世界中の多くの家庭がホームスクーリングを選択しています。学校というシステムの中での悪影響から子どもたちを守りたいという理由から始める家庭も多いですが、実際には、積極的なメリットをたくさん提供できる教育環境がホームスクーリングなのです。特に、子どもたちとのきずなを築き上げ、キリストへの信仰を引き継いでいけることが、有意義なメリットの一つです。

そうしたホームスクーリングのメリットに焦点を当て、各家庭においてどのように成就させていくかお伝えします。

### ■「実社会で輝くために 神さまから教えられた今なすべきこと・教えるべきこと・心に刻むべき

## こと」

ダニエル・ファンガー

宮城明泉学園園長 グレープシティ社会長

園児数約1300人と日本で最大規模の幼稚園、宮城・明泉学園。卒園生対象の英会話スクールなどには約1700人が通います。その明泉学園園長であり、日本・アメリカ・中国・インドなどにまたがるグレープシティ社の会長を務めるダニエル・ファンガーさん。伝道者、3人の子の父親としての顔も持ちながら、実社会で稀有の体験をしておられます。チャ・につぼん、そして全国のチャーチ&ホームスクーラーたちを20年に亘って、応援してこられました。

ご自身の体験、神さまから教えられたポイントをベースに、実社会で輝く秘訣、ユース世代が今なすべきこと、その親たちが今教えるべきこと、両者が心に刻むべきことを分かち合います。明泉学園では、ホームスクーラー向けに、1年間のインターン研修プログラムを始める予定です。セッション中で、その情報も分かち合ってくださいませ。

## ＜分科会 Workshop＞

### ■「大器晩成一焦って急ぐより、遅れても、じっくり取り組むほうが大切」

#### Better Late than Early - a different view on "early childhood education"

ジェラルド&ベバリー ヒューブナー  
Gerald & Bev. Huebner

世間一般では、早期教育が大事であり、多くの社会問題の解決策となり得ると信じられています。この分科会では、子どもの発達に関する現在の見方を検証し、違った見地からの提言をします。その新しい提言とは、教育は「大器晩成——焦って急ぐより、遅れても、じっくり取り組むほうが大切」という提言です。夫妻は、30年以上前からこのアプローチでホームスクーリングを行い、実際に有効であることを体験しています。

## ■ 「ホームスクーリングにおける祖父母の役割」 Grandparents' Role in Supporting Home Education

ジェラルド&ベバリー ヒューブナー  
Gerald & Bev. Huebner

祖父母は、孫がホームスクーリングで育てられていることを知ると、心配し、多くの疑問を抱くかもしれません。この分科会では今や祖父母となったヒューブナー夫妻が、祖父母の皆さんや、祖父母の関わりについて考えたい皆さん、また将来、祖父母になるであろう皆さんを対象に語ります。ホームスクーリングに関して祖父母が抱かれるであろう質問（「うまくいくのか?」「社会性は?」「合法か?」）について情報を提供し、祖父母という立場からどのようにホームスクーリングを助け、励まし、干渉するのではなく支援するかといった実践的なアイデアをお伝えします。

## ■ 『混迷する世界でリーダーを育てる』という課題に取り組む パート1 ネヘミヤとヨシヤからの教訓 ホームスクーリングの利点

**Taking on the Challenge' Raising Leaders in a Mixed up World" – Part 1 – lessons from Nehemiah and Josiah – The Home Education Advantage –**

ジェラルド ヒューブナー  
Gerald Huebner

この世は混迷を深め、かつてないほど暗闇となり、希望も見出せません。事実、現代社会の日常には様々な脅威があり、子どもをキリストにあって強く、敬虔な大人に育て上げることが妨げられます。これらの脅威は深刻であり、憂慮すべきです。21世紀社会の現実を探り、様々な混乱と懸念に対する見通しをお伝えします。また、親ができることや、クリスチャンのホームスクーリングがこれらの脅威に対抗して、どうしたら重要な利点を提供できるのか、その方法を探ります。ホームスクーリングは有益ですが、もちろん簡単ではありません。現代文明の中で、どのようにして子どもたちを敬虔なリーダーに育てられるのでしょうか。ネヘミヤとヨシヤの歩みから考察します。

## ■ 『混迷する世界でリーダーを育てる』という課題に取り組む パート2 バビロンへの備え：混迷する世界でダニエルのようなリーダーを育てる ホームスクーリングの利点

**Taking on the Challenge' Raising Leaders in a Mixed up World" – Part 2 – Preparing our Children for Babylon - Raising Leaders like Daniel in a Mixed-Up World – The Home Education Advantage –**

ジェラルド ヒューブナー  
Gerald Huebner

パート2では、引き続き今日の世界における重大な脅威への対処法をお伝えします。ダニエルを見ながら、バビロン捕囚時代と現代の驚くべき共通点を探ります。また、どのようにしてホームスクーリングを継続していくのか、どうすれば家庭や子どもたちの生活の中でホームスクーリングの実が結ばれていくのか、という課題も扱います。

## ■ 「ホームスクーリングを選択する自由をかけた闘い：実際に闘いはあるのか？」

**The Battle for the Freedom to Choose Home Education - Is there a really a battle?**

ジェラルド ヒューブナー  
Gerald Huebner

私たちは自由な世界に住んでいるのではないのでしょうか。この分科会では、ホームスクーリングを展開する上での現実の脅威と、それらが皆さんにどのような影響を与えているかを説明します。保護者がホームスクーリングを選択する自由は、世界中で重大な攻撃を受けています。世界中の多くの地域で、ホームスクーリングの権利を向上させるために行われていること、親の自由をかけた闘いについて情報を提供し、それが皆さんにとって何を意味するのかを説明します。また、自宅や世界中で起きている闘いの解決についてもお伝えします。

## ■ 「ホームスクーリングにおける父親の役割」 The Father's Role in Home Education

ジェラルド ヒューブナー  
Gerald Huebner

ホームスクーリングにおける父親の役割とその重要性を再認識し、奨励します。忙しさやプレッシャーに満ちた人生の中では、父親は最も重要なことを見失ってしまいがちです。父親の皆さんに励ましを与え、父親の誤った虚像を打ち壊し、十分に責任を果たしていないという罪悪感を解消します。どうすれば父の役割を果たせるか、実践方法も提示します。ホームスクーラーダディによるホームスクーラーダディのための分科会です。

### ■「母から母へ」 Mom to Mom

ベバリー ヒューブナー  
Beverly Huebner

ホームスクーラーママの皆さん、ぜひ参加して共に分かち合いましょう！ベテランのクリスチャン・ホームスクーラーママであり、今ではホームスクーラー グランマとなったベバリーが、ホームスクーリングと家事の膨大な責任をこなす母親の皆さんに、励ましとチャレンジを与えます。神さまの助けがあれば、ホームスクーリングはうまくいき、やる価値があり、こなすこともできます。参加者同士で簡単に経験を分かち合い、互いにサポートし合う時間も持つ予定です。

### ■「学習スタイル」 Learning Styles

ベバリー ヒューブナー  
Beverly Huebner

子どもたちはどのように学ぶでしょうか。2人以上の子どもをホームスクーリングすれば、子どもたちが同じようなスタイルで学習しないことにすぐ気が付くでしょう。この分科会では、私たちが神さまに導かれて行ってきた様々な学習スタイルを分かち合い、その長所を使ってどのように子どもたちに学ばせ、弱点に取り組んでいくか、最善の教え方を探っていきます。

### ■「神さまの時 - 子どもたちを巣立たせてから、

## ハリウッド&ポップ界が開かれたー」

Junko ゴスペルシンガー

25年に亘り音楽ミニストリーを行ってきた Junko は、最近ハリウッドに進出。テイラー・スウィフト（アメリカのシンガーソングライター。全世界のトータルセールスは1億7500万枚以上）のミュージック・ビデオ「Delicate」に出演しました。これを契機に、様々なハリウッドの仕事が入ってきています。

サドルバックチャーチのワーシップリーダーとして頑張ったものの、子育てを最優先した Junko が、いかにして新しい伝道の間へと主によって導かれたかをお話します。

Junko は、長年、チア・にっぽんのビデオ作品にも多数の楽曲を提供、日本のホームスクーラーたちを口サンゼルスから応援してきました。キリストの光を放つ者として、あらゆる機会を探し求めるよう皆さんにチャレンジします。

.....

## 分科会各講師 抄録

### ■「悩めるホームスクーラーのお父さん、お母さん、共に祈りましょう」

赤津 裕治&めぐみ（東京会場）

10代、20代のお子様をホームスクールしている方で、お子様の信仰面などで、悩み、心を痛めておられるお父さん、お母さん、共に分かち合い、祈りませんか？

我が家は、長男（24歳：社会人）、次男（21歳：大4）、長女（16歳：高2）、次女（13歳：中2）の4人の子どもたちがいます。良かった面もあれば、反省・失敗面も多くあり、悩んでは主に祈り、より頼みます。また忍耐を通して信仰が試されます。前半は、我が家の祈り課題と、みことばによる励ましを分かち合い、後半は、小グループに分かれて、子どもたちの為に、祈りの時を持ちたいと思います。

## ■「チャーチ&ホームスクーリング -必ず聞かれる20の質問」 稲葉 寛夫 (大阪・東京会場)

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるチャーチ&ホームスクーリングって？」。この19年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

## ■「普通のサラリーマン家庭」でも ホームスクールはできる？ 今井 一穂&真理子 (大阪会場)

夫は仕事で忙しい。昼間は妻一人。本当にホームスクールをやっていけるのか？はい、やっています！（今のところ）ホームスクールの扉は「普通のサラリーマン家庭」に開かれています。（少なくとも我が家は…）

### ①普通の会社員家庭のホームスクール現状

我が家の日常生活の様子を共有させていただきます。（1週間のタイムテーブル、夫婦の時間、いいことメモ&もうちょっとメモ、制限時間を設けて親と遊ぶ、聖書の時間、真理子1人の時間、教材、教会の人の助け、など）

### ②スパイクは虐待か？

スパイクは虐待でしょうか？世間やクリスチャンからの風当たりがさらに厳しくなる中、スパイクの聖書からの定義や意義を確認します。ぬいぐるみを使い我が家での実践方法の実演や注意点を共有させていただきます。

## ■神様の思いは親の思いをはるかに超えて 上原 栄治&知子 (東京会場)

16年前、希望と少しの不安を胸にスタートした我が家のホームスクール。振り返ってみて、神様

の恵みに感謝でしかない。神様は親の能力や経済力の有無、罪や失敗に従って子どもたちを扱うことをせず、それらを超えて愛と恵みを与え続けてくださっている。親の思いをはるかに超えて心に思い浮かんだこともないような計画を子どもたちに与えて下さり長男(22)はフリーのカメラマンとして働き、長女(20)はYWAMの2つのプログラムを修了した。今だからこそわかってきた神様の偉大さ、愛と憐れみの深さ。そこを通して見る子育てのあり方などをシェアします。日々子育てに奮闘しておられる親御さんたち、安心して下さい！神様に信頼しましょう！

## ■「バラミン：種類にしたがって」 宇佐神 実 (大阪・東京会場)

創世記には、植物も動物も種類にしたがって造られたことが記されています。「種類」の意味を聖書に基づいて正しく理解し、生物学と照らし合わせて考えるときに、まさに動植物が種類にしたがって造られていることがわかります。また、進化論によって教えられているような、魚類→両生類→は虫類→ほ乳類、あるいはネズミ→サルやヒトといった進化の証拠は存在せず、盲目的信仰に過ぎないことがわかります。子どもたちに聖書に基づいて動植物を教える土台を学びましょう。

## ■「創造を堅く信じる？世の教えに妥協する？」 宇佐神 実 (大阪・東京会場)

いつの時代でも、世の教えは信仰者の心に入り込もうとし、信仰を捻じ曲げようとします。特に天地創造を信じるか世の教えを信じるかは、本人だけでなくその教えを学ぶ人々に大きな影響を与えていきます。使徒の時代から現代までの様々な信仰者・哲学者の考えの変遷をみながら、聖書の教えに世の教えを取り入れることが長期にわたって信仰の破船をもたらすことと、世の教えと妥協せずに聖書の教えに堅く立つことがいかに純粋な信仰を受け継がせるかを学びます。子どもたちに純粋な聖書信仰に立つことの大切さを伝えようではありませんか。

## ■「ギリシャ人にはギリシャ人のように」 大久保 みどり (大阪会場)

福音の土着化が大切なことは聖書が明言しているので、必至なことですが、そのためにはまず土着の性質がどういうものを明確にしなければなりません。日本、あるいは諸国の土着性とは聞かれて即座に、具体的に答えることは簡単ではありません。しかし、その国の文化、民族性の特色等の土着性を明確に知ることは、神の命を入れる器を用意することになります。器が無ければ、命を入れることはできません。ですから、器の性質を知ることが重要なのです。それが木、石、金、胴の器であれ、その中に神の命を入れさえすれば、全ては尊い器になるからです。

### ■主は良いお方 ～我が家の証～

大城 基晴&百合 (大阪会場)

我が家は、長男晴也（ノリヤ、高1）、長女美賛（ミサ、中1）、次男美時（よしと、4歳）の5人家族です。今回初めて分科会で話すことになりました。当時ノンクリスチャンであった夫の決断によってホームスクールに導かれた経緯、2年前に引越しし、ホームスクールの拠点が教会の近くになり、子どもたちの様子に変化したことなど神様が私たちに良くしてくださった証を中心に、素直にお話できればと思います。

### ■「成長させてくださるのは主です」

岡田 恵理也&愛 (大阪会場)

身近に心強い理解者も見当たらないまま踏み切った、我が家のホームスクーリング。先輩方の、「実を見るまでに、最低4、5年はかかる」との言葉に励まされつつ4年半が経ち、その言葉の真意を少しずつ実感し始めています。当初は、「社会性は？」「宣教はできるのか？」などの質問に、たじろぐこともありましたが、主は、のんびりな私たち家族をゆっくりと整えつつ、主を証し、地域へ福音を届ける働きへと押し出して下さっています。まだ、全てにおいて途上ですが、実践を通して教えられていることや、与えられている恵み、課題等をお分かちできたらと思います。

### ■「子どもといっしょに御言葉に生きる」

菅野 律哉&幸 (東京会場)

我が家では、読み書きができない幼い頃から聖書（みことば）に触れることを大切にしています。読み書きを覚えたら御言葉を、ではなく、御言葉を通して読み書きも覚える、を目標にしています。また、ホームスクーリングは子どもの個性に応じたオーダーメイドができる利点を活かして、兄弟でも同じ方法ではなく、それぞれに合ったやり方を模索しながらやっています。どのように御言葉を学んでいるか、その具体的な方法や、この1年で感じた子どもの成長、数々の主の祝福の御業をお分かちしたいと思います。

### ■「ホームスクーリングの日々を振り返って」

ギンター 千為子 (大阪・東京会場)

昨年の暮れに子どもたちは皆、家を巣立って行きました。今静かにホームスクーリングの日々を振り返っています。ホームスクーリングは本当に素晴らしい教育法であるということに改めて実感し、その恵みと祝福の大きさに驚いています。本当にホームスクーリングをして良かったと感謝の気持ちでいっぱいです。またそれと同時に、自分の失敗や、反省すべき点も示されました。今、私はどのようにしたらホームスクーラーのお母さん方を手助けできるだろうかと毎日考えています。これまでの道のりを振り返り、なぜホームスクーリングが素晴らしいと思うのか、また反省点、そして神様が教えてくださったこれからどうすべきなのかということ、ありのままにお話できたらと思っています。

### ■「何して遊ぶ？」

ホームスクーラーにお勧めボードゲーム

竿代 健&矢須子 (大阪会場)

子どもたちが小さい時は、公園、川や海などアウトドア中心の遊びをしていました。だんだん成長するにつれて、スポーツをする時以外は、インドアの傾向が強まりました。聖書を題材としたカードゲームにはまったことがきっかけで、色々なボードゲームで遊ぶようになりました。幼児から大人まで一緒に楽しめるもの、2人から大人数まで楽しめるもの、ちょっとした集まりのアイスブレイクなどに使うことのできる軽いものから、知

恵比べの本格的なものまで、実際にいくつか体験してもらいながら紹介したいと思います。

### ■「お父さん集まれ！」

志賀 信泰 (大阪会場)

ホームスクーリングパパだって悩みはあるし、お友だちを作りたい！ということで定例化しつつあるお父さんネットワーキングの場です。分かち合い、祈り合い、励まし合う時を持ちます。短い時間ながら、ここでの交わりが更なる交わりのきっかけへとつながることを願っています。

### ■「ネット社会において、子どもをどのように守り導くか」

末宗 宣行&百合子 (大阪会場)

我が家の一人娘は中学生になり、今まで以上に様々なことに興味を持つようになりました。興味があることについて、ネットを活用するのは、情報を収集する一つの手段になります。また、勉強をする時でもネットは欠かせません。それ故、正しく用いる方法を教える必要があります。自らを自制する力、見分ける目、慎重さが必要です。親としてどのように導いていくべきか、私たちが考え、試行錯誤していることを分かち合いたいと思います。また、小学生から中学生になり、さなぎが蝶になりかけているような、今までになかったような成長も分かち合えたらと思います。

### ■「一日はQTでイエス様と共にスタート！」

田丸 暁規&明日香 (大阪会場)

主の招きによって開かれたホームスクールの扉。はりきってスタートしたものの、その歩みの中で私たち親は、あれも大事、これも大事と様々な世俗的な情報に焦りを感じたり、反対している家族を納得させなければというプレッシャーを感じる時もありました。そんな中、昨年より家族一人ひとりが、毎朝QT(クワイエットタイム)によって神様と1対1で向き合う時間をとるという取り組みを積極的に始めました。この時間の恵みは、一人ひとりの目を神様にはっきりと留め、大切なものは何かを確かにしてくれる事です。このQT

で起こった家族の変化と、子どもたちの毎日の生活・取り組んでいる事などをお分かちしたいと思います。

### ■「神様の臨在の中のホームスクーリング」～あれから8年、神様が教え導いて下さったこと～

棚田 伊作&加代子 (大阪会場)

このタイトルは8年前、2011年の白馬セミナーの講師だったエリザベス・スミスさんの第1回基調講演のタイトルです。この時に語られたことは「神様と親密な関係になることの大切さ」でした。この講演には忘れられない思い出があります。我が家のホームスクール11年の歩みを振り返りつつ、8年の年月をかけて神様が教え導いて下さったことを分かち合いたいと思います。

### ■「ホームスクーリングを選び続ける」

中上 勝雄&デフィ (東京会場)

幼稚園から数えて、まだホームスクーリング6年目です。長男小学3年生、次男幼稚園年中、長女0歳です。公立学校側からは「登校をお待ちしています」、周囲からは「なぜ幼稚園に通わないのですか」と頻りに言われる中で、ホームスクーリングを選ぶ目的と理由を常に自分自身で確認しながら、この教育を選び続けています。ホームスクーリングのメリットとデメリットを現実的に考えて比べつつ、「信仰を自分のものとしていく」「社会性を身に付ける」という2つの目的達成のためにトータルで判断して、ホームスクールを選んでいます。今回の分科会参加者の皆様からも様々なご意見をいただき、私自身も学びたいと願っております。

### ■「世界宣教とホームスクール」

月城 聖一&美和子 (大阪会場)

ホームスクールに踏み切って7か月後、まさか中国宣教に神様からお声がかかるとも思ってもいなかった月城家。それから4年後、三人の子どもたちがそれぞれ高1,中2,小1の時、大連へ。英語の教材で学んできたことが用いられ、国際教会の土曜学校を家族で担当することに。そこから親子がどんどん救われる御業がおこる。一緒に土曜学

校の奉仕をした中国人姉妹がホームスクールに興味を示し、結婚したご主人との間の破壊的な嵐をくぐり抜け、三人の子どもたちをホームスクールで育てながら中国で証ししている。ホームスクールは国を越えて神様を証ししていく伝道。

### ■「低年齢化する10代の性行動と親の任務」

辻岡 健象 (東京会場)

神の形に創造され、神の栄光を現わす「いのちと性」が軽視され、性の秩序が完全に乱れてしまった時代に私たちが生きています。この大切ないのちと性のあり方、生き方を具体的に話し合い、学びたいと思います。特に、現代の一般的な性教育と私たちの性教育の違いを中心に、共に学び、共に話し合い、充実した時間を共に過ごし、解決策を求めていきたいと願っています。いのちと性に対する考え方や理解が多様化する中で、それでは如何に生きるべきか、を共に話し合い学び解決策を求めていきたと思います。今回は、LGBTに関しても取り上げます。

彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、のろいでこの地を滅ぼさないためだ。(マラキ4:6)

### ■「トウル家のホームスクーリング」

トウル ジェフリー & 文絵 (大阪会場)

5人の子どもたち(15歳、13歳、12歳、10歳、3歳)とのホームスクーリングの日常を紹介します。現在のホームスクーリングのスケジュールと目標、また5年前、10年前はどうだったか?子どもたちの成長とともに、取り入れたこと、軌道修正してきたことを分かち合います。

### ■「中島家のホームスクール2019バージョン」

中島 若樹&啓子 (大阪会場)

この一年も様々なことがありました。進路について祈り求めながら、伝道への熱い想いに燃える長男(豊21歳)一人暮らしを始めた美容師2年目の長女(芽生19歳)公認を終え、バイトに励みお金を貯めては短期宣教等で海外を旅する次男(隼登17歳)みことば、賛美、祈り、そして筋力トレーニングにハマる次女(光実14

歳)声は低く背は高く成長期の三男(謙人11歳)お絵かきやビーズ手芸が好きなアート系女子の三女(愛喜9歳)シャイだけれど心優しい新一年生の四女(賜実6歳)やんちゃで甘えん坊のザ・末っ子四男(新4歳)マリアのようにみ言葉に聞き入る生活を求めながら日々奮闘する母(啓子)様々な責任を持ちながらホームスクールパパとして奮闘する父(若樹)が経験した恵みや葛藤を、夫婦関係、親子関係、兄弟関係などにも触れながら分かち合いたいと思います。

### ■「週2時間から始められるホームスクール」

永田 ヨハネ&ゆり (大阪会場)

独身時代からHSについて考えるきっかけを与えられていた私たち夫婦に、神様がどのように働きかけ、HSへと導いて下さったかという「①HSへの経緯」、岐阜というHSをされている方がほとんどおられない状況の中で、どのように4人の子どもたちにHSをしているかという「②HSの現状」、HSをしている故の様々な悩み、誘惑、落胆の中でも、私たち夫婦が「③HSで大切にしていること」の3つのポイントからお話する予定です。(HS:ホームスクール)

### ■「恵みに満ちた13年間のホームスクール」

中村 昌代 (東京会場)

この春、息子が大学に進学したことで、13年間のホームスクールが新しい段階に入りました。13年前、ホームスクールへの導きの確信と不安の中で始めたこと、その後の出来事を思い出すと、神は良いお方であり、すべてを満たして下さるお方であると言わずにはおられません。小中高と行かずにホームスクールしてきた息子の義也本人と証させていただきます。

### ■「行く道にふさわしい教育」

中山 史郎&薫子&基義 (東京会場)

史郎、薫子がそれぞれ思うことや体験談を話します。子どもにとって幸いな道とは。子どもが信仰を受け継ぐことについて。ホームスクーリングの苦闘と報い。どのように神の助けと力を見たか。ホームスクーリングで一番大切なことは何か。ま

た、昨年12月、結婚を機に、25年と半年いた実家を離れ、新しい家庭を形成した基義が、ホームスクールについて今になって思うことなどをお話します。どうぞよろしくお願いいたします。

### ■「ポンコツ母さんでもできるホームスクール」

成瀬 太郎&由紀子 (東京会場)

ホームスクールを始めて5年、特性のある子どもと私がたどり着いた勉強スタイルや生活リズムなどをご紹介しますと思います。母親自身の弱さにもかわからず、神様は憐れみ深く導き励ましてくださっています。課題なども率直にお分かちしたいです。

### ■導かれる主に信頼する日々

～福島移住のあかし～

平岡 真実&恵美香 (東京会場)

私たちは昨年7月に福島の田舎に移住し、サラリーマン世帯からイチゴ農家に転身しました。これまで東京で与えられた多くの恵みを振り返り、移住を決断するに至ったさまざまな思いや動機、そして実際に移住を経験する中で与えられた力強い主の導きの数々など、子どもたち5人を抱えたドタバタホームスクーラー一家のたどった経緯を、夫と妻それぞれの視点でできるだけ簡潔にお伝えしようと思います。

### ■「身体を動かすという事、運動の基本」

藤井 一郎 (東京会場)

いつ何をやれば良いか？何が必要か？腰痛、肩こりの時の運動。年代別に必要な運動。実際に身体を動かして実感し、理解してみましよう。

### ■「りんごとバナナ- 4人の子育てを通して

神様から教えられたこと」

ブロックソム 淳子 (大阪会場)

クリスチャンであるから、神様を知っているからといって、自動的に良い親になれるわけではないと思います。子育てとは縁遠かった私ですが、現在32歳となった長男をはじめ、4人の息子を育てさせていただきました。これまでの日々を振

り返り、自分が学んできたこと、役に立ったことを皆様と分かち合えればと思っています。

### ■「限界を認め受け入れた時に

やってくる主の恵み」

三橋 宏史&優子 (東京会場)

子育てで壁にぶつかり限界を感じる時は、逃れ道を探すことも一案です。我が家は、がん闘病や中年の危機の中で、親自身が人生も教育も「がんばること」をやめました。すると主の祝福と恵みがより深く強く現れるようになりました。時間・お金・環境・エネルギー・愛情・信仰に到るまで親が自らの限界を認め、受け入れ、主の恵みを求め受け取る。数々の苦難と逃れ道のプロセスから与えられた教訓・知恵、現在の課題、具体的な教育方針、普段の過ごし方、学籍の取り扱いなど、ホームスクーリングの1サンプルとしてシェアいたします。長女本人も登壇予定。

.....

### 【抄録準備中の皆様】

亀川 偉作&奈美 (大阪会場)

小林 里佳 (大阪会場)

渡辺 健&まゆみ (東京会場)

豊田 宏子 (東京会場)

金子 昭典 (東京会場)

山下 綾子 (東京会場)